

ト会 メン メ セ 協

生産性向上と維持管理

コンクリート セミナー開催

2分野で5講演実施

セメント協会は7日、香川県高松市で第308回コンクリートセミナー「これからの時代に求め

られるコンクリート技術の展望」を開催した。「生産性向上と維持管理」の2分野に焦点をしば

「5件の講演要旨は次号掲載予定」

たインフラの老朽化が顕在化しており「安全・安心・快適な社会の構築に危険信号がともっているとの指摘がある」と述べ、維持管理の仕組み作りや新技術の導入が図られていることにも言及した。こうした課題に対して、コンクリート技術を展望し課題解決の方策を探るためコンクリートセミナーを開催すると趣旨を説明した。

り「朝倉秀明セメント協会 普及専門委員会委員長」5件の講演を実施。約120人の参加者は「技術の現状や課題解決の方策、今後進むべき方向性」(同)について知見を深めた。

冒頭、主催者を代表して朝倉委員長があいさつ。「少子高齢化の進行によって、あらゆる産業で人手不足が問題となっており、建設業界も喫緊の課題となっている」とし、この課題を克服するため国土交通省はコンクリート工の生産性向上など「i-Constructio

コ」に取り組んでいることを紹介した。さらに高度経済成長期に建設され

良JR東日本コンサルタ
ンツ技術統括・東日本旅
客鉄道顧問が「コンクリ
ートの生産性向上と品質
確保」、坂田昇鹿島土木管
理本部土木技術部長が
「コンクリート施工にお
ける生産性向上技術」を
講演。続いて維持管理に
関しては岡崎慎一郎香川
大学准教授が「四国にお
けるインフラの維持管理
と新技術の実装への取り
組み」、角田直行西日本高
速道路メンテナンス中国
社長が「高速道路資産の
点検から保全の現状と今
後」、十河茂幸近未来コン
クリート研究会代表が
「コンクリート構造物の
延命化の課題と展望」を
それぞれ解説した。



約120人が参加